

変異ウイルスのまん延に備える

城里町国保七会診療所 上井 雅哉

現在、新型コロナウイルスの変異株が全国的に広がりをみせています。変異株は従来株に比べて高い感染性や、ワクチンの効果を弱める可能性があること懸念されており、なかでもインド国内で猛威を振るった「L452R」と呼ばれる変異株への感染者数が、首都圏を中心に増加傾向にあります。6月下旬には、茨城県内でも感染が確認され、今後、人流の増加にともない再び爆発的な流行の可能性も考えられます。

1. 変異株のできるしくみ

新型コロナウイルスが属するRNAウイルスは、感染した細胞のなかで自らのコピーを作り増殖していきます。その過程において一定の割合でコピーミスが起こり、遺伝情報が変化したウイルスが作られ、それが変異株となります。

<変異株の例>

アルファ株(従来英国株と称されていたもの)
 主な変異…N501Y
 表面の突起を構成するたんぱく質の501番目のアミノ酸がアスパラギン(N)からチロシン(Y)に置換

デルタ株(従来インド株と称されていたもの)
 主な変異…L452R
 表面の突起を構成するたんぱく質の452番目のアミノ酸がロイシン(L)からアルギニン(R)に置換

この変異によって、細胞表面への接着がより強固になると感染性が増したり、抗体に結合する部分の構造変化が起きると抗体からの攻撃をすり抜け、ワクチンの効果を弱めたりする可能性があります。このようにして感染患者内で作られた、より感染性の強い変異ウイルスは、主に活動性の高い若年層を介して広がり、増えていくと考えられています。

2. 変異株に対抗するためには

変異株に対抗するカギは、「検査体制の拡充」と「ワクチン接種」にあります。

変異株を見逃さないためには、十分な件数のPCR検査を実施できること、また、感染流行地域においては無症状者についても定期的に抗原検査を実施することなど、「検査体制の拡充」が必要であると考えられます。

「ワクチン接種」での対抗策については、全ゲノム解析により変異ウイルスの遺伝子配列を調べ変異株に対応させたワクチンや、変異にかかわらず不変で保持している部分に結合するワクチンなど、変異株にあわせたワクチンの開発が必要になってくると考えられます。ただ、現在承認されているワクチンも、2回の接種で変異株に効果があるとされています。また、抗体保有者が多数派を占めることで、集団免疫の効果も得られると期待されています。



筋肉痛のような痛みや頭痛、発熱などの副反応の出現割合が高いことなどから、接種を敬遠する傾向も一部みられますが、変異株は若年者でも重症化する可能性があることや、自分のまわりの大切な人たちを守るためにも、接種を前向きに検討していただきたいと思っています。

3. 日常生活での注意点

感染性が強い変異ウイルスにかからないようにするためには、これまで実践してきた対策を、より確実に行うことが大切です。マスクについては、飛沫予防効果の高い不織布マスクを活用し、顔にしっかりフィットさせ、すき間がないように付けるなど、これまで実践してきた対策をより徹底しましょう。

◆桂公民館1日講座◆

太極拳教室

日時 9月19日(日) 午前10時～正午
場所 桂公民館 1階 講堂
対象者 町内に在住または通勤している人
定員 20名 **参加費** 無料
講師 猿谷 裕子 先生
申込期間 8月31日(火)～9月9日(木)
申込方法 桂公民館まで電話または直接来館してお申し込みください。
申込先・問合せ 桂公民館 ☎029-289-2220
 (受付時間/月曜日を除く、午前9時～午後5時)

ホロルの湯からのお知らせ

◆営業時間 10:00～20:00 (最終入場受付19:00)
 ※1時間短縮で営業しています。

◆休館日

8月2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、
 30日(月)、9月13日(月)、21日(火)、27日(月)
 【設備点検】 9月6日(月)～10日(金)

◇近日のイベント

・夏休み工作教室/8月11日(水)～14日(土)
 ・昆虫標本展/8月11日(水)～22日(日)

問合せ ホロルの湯 ☎029-288-7775